

ビジネスアイディアの概要

産業界では、化学物質や高圧ガスの取り扱いに伴う事故を防ぐため、製造事業者がリスクアセスメント（RA）を自主的に実施している。しかし、RAは多分野の専門知識を要し、個人の経験に依存するため評価にばらつきが生じやすい。技術人材の不足が進む中、RAの質の低下が懸念される。この課題を解決するため、RA特化の生成AIアプリを開発し、高品質なRAを支援するシステムを構築する。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- ・類似災害防止支援AI「るいぼう」の開発
 - 爆発火災事故のナレッジベース構築, RAに特化した応答
- ・市場調査とビジネスモデル確立
 - 想定顧客へのヒアリング, ビジネスパートナーの探索

事業化の見通し

反応性化学物質による事故事例をナレッジとして活用するプロトタイプを開発し、想定顧客に試用いただいた。その結果、検索語やデータの不足が課題として挙げられたものの、完成版は業務での活用が可能であるとの意見を得た。
2025年は、これらの課題を解決するための研究開発を進め、2026年のPoC実施を目指す。

事業者情報

代表
梶山 一臣(三井化学)

メンバー
中山 穰(横浜国立大学)



ビジネスアイディア概要図等

世界中の爆発火災事故に学ぶ
類似災害防止支援システム

